

村内の生産者が心を込めて作る農産物。
その味を生かして作られる素朴な郷土料理。
これらの鮫川村の豊かな「食」は、
村づくりや都市交流の一翼を担っています。
しかし、当たり前のように身近にあると
その魅力に気づけないことがあります。
今、改めて鮫川村の「食」について考えてみましょう。

MO
TE
NA
SHI

おもてなし

里山の
特集

さめがわの
「食」の魅力を探る。





1. 村内産の新鮮な農産物がズラリと並び「手・まめ・館」 2. 阿久津さん夫妻が栽培する長ネギはやわらかくて甘みがあると評判 3. 収穫した大豆はビニールハウスの中で乾燥させる 4. 乾燥した大豆の状態を確かめる恵三さん 5. 保存食づくりの仕込みをするためのイネ子さんの作業場 6. 冬になると村内各地で見られる凍み大根

「手まめ」な人たちが支える 鮫川村の「食」と「農」

作物の一つ一つには生産者の思いが詰まっている



阿久津清次さん・澄子さん
| 西山字折戸在住 |



北條恵三さん
| 赤坂西野字押目在住 |



矢吹イネ子さん
| 赤坂東野字蔵ノ草在住 |

消費者の立場で 安心・安全な物づくり

村が進めている「まめで達者な村づくり事業」の拠点施設である村農産物加工・直売所「手・まめ・館」。村内の農家が丹精込めて作った新鮮な農産物が所狭しと並んでいます。

「手・まめ・館」の登録生産者の

一人である阿久津澄子さん(73歳)は、夫の清次さん(76歳)とともに年間を通してさまざまな農産物を出荷しています。阿久津さん夫妻が生産する野菜は、学校給食用の食材としても使用されているため、忙しい日々を送っています。

安心・安全な野菜づくりを心がけ、農薬を極力減らし、自家製肥料を使うというこだわりを持っています。肥料づくりは清次さんが担当。米ぬかや鶏糞、油かすなど

村づくりに協力しようと思って参加しました」と振り返ります。

苦勞するのが害虫や雑草との戦い。以前は、脱粒や選別を手作業で行っていたといいます。現在は脱粒機などの機械を利用しながら負担を減らしています。

「歳をとって容易でなくなったよ。今はできる範囲でやっているよ」と笑います。

また、大豆を栽培するだけでなく、「手・まめ・館」で販売している大豆加工品を積極的に消費しています。

「安心・安全で、自分たちが作った物を食べられることが幸せ」と、きな粉をヨーグルトに混ぜて食べたり、豆腐やおからを買ってきては家族に食べさせたりしているといいます。

現在、病氣知らずの恵三さん。まさに「大豆を作って健康、食べて健康」を実践しています。

厳しい寒さを生かした 昔ながらの保存食

これから冬本番。寒さがいつそう厳しくなり、昔ながらの保存食作りが最適な季節を迎えます。

「手・まめ・館」開所当初から、凍み餅や凍み大根などの保存食を出荷している矢吹イネ子さん(70

を混ぜ合わせ、発酵・かくはんを繰り返します。そのためか、阿久津さん夫妻が作った野菜は虫が付きにくく、収穫後も鮮度が長持ちすると評判です。

また、お客さんに食べてもらうときの味を考えて作り、出荷する前に自分で味見をして、納得した物しか売りません。

「ただ売ればいいというわけではないですよ。消費者の立場になって考えて、お客さんに喜んでもらえるような物を作りたいです」と、強い責任感を持って農業に取り組んでいます。

お客さんからの「おいしい」のひとつが阿久津さん夫妻の原動力になっています。

大豆を作って健康 食べて健康

村の特産品の一つである大豆。「まめで達者な村づくり事業」の根幹として始まった大豆栽培も今年で十年目を迎えました。

事業開始当初から参加している北條恵三さん(81歳)。以前から、自家製みそを作るために大豆を栽培していたという長年の経験を生かし、現在は約十六アール作付けをしています。

「ただ畑を遊ばせているよりは、

歳)。昔はこの家庭でも作られていたという保存食。軒先にずらりと並ぶ凍み餅などは、冬の風物詩でもありました。しかし、現在では、作る人の数は減り、蔵ノ草集落ではイネ子さん一人となつてしまいました。

「親の手伝いをしながら、見よう見まねで作る方を覚えたんですよ」と話すイネ子さんが作る凍み餅は、ゴボツ葉(オヤマボクチ)を栽培するところから始まります。以前は山に自生していたゴボツ葉を使用していましたが、山の手入れが行き届かなくなり、採ることができなくなりましたからです。収穫したゴボツ葉は干して乾燥させ、手でもんでから保存しておきます。また、餅はきねでつくというこだわりがあります。機械でついた餅とは味も食感も違うといえます。

「手間暇がかかっている分、おいしさが増すんですよ」とほほ笑みます。

鮫川村の冬の厳しい寒さを生かした保存食づくりは、村の気候に合っているからこそ、現在まで受け継がれてきました。「時期を逃しては作れない」と、正月早々から凍み餅づくりに励むというイネ子さん。「冬でも遊んではいられない」と意気込んでいます。

声



本郷 弘義さん
| 西山字落合在住 |

冷だれに感激

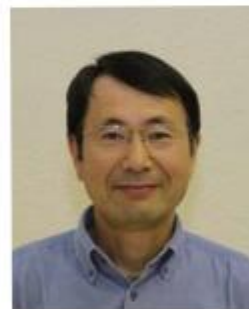
きんぴらがおいしかったです。家で作るものとは味が違うので新鮮でした。「じゅうねんの冷だれ」は、おばあちゃんの世代でないとなかなか作れないので、久しぶりに食べて感激しました。子どものころから食べていたせいか、いくら食べても飽きない味です。



永林 敬子さん(右)
吉田 静枝さん(左)
| 須賀川市在住 |

素晴らしい「おもてなし」

昨年、初めて参加してよかったので、友人(吉田さん)を誘って参加しました。どの料理も味付けがよく、ふんだんに使われている地元の食材のよさを引き出していると思いました。また、村の方々が温かく迎えてくれて、素晴らしい「おもてなし」を受けました。



白坂 正さん
| 東京都在住 |

かぼちゃがおいしい

初めて参加しました。鮫川村出身なので、子どものころはよく凍み餅は食べていましたが、「凍み餅天」のような料理方法があるとは思いませんでした。どの料理もおいしく、特に「かぼちゃのサラダ」は、かぼちゃがホクホクしておいしかったです。



「鮫川の郷土料理を楽しむ会」で、村内産食材をふんだんに使った料理を味わう来場者

地域の「食」を見直す・守る・伝える

ふるさとの味を次世代に「食」を生かして元気な村に

ふるさとの味を伝承する郷土料理の普及、食育や地産地消の推進を目的とした「鮫川の郷土料理を楽しむ会(以下、「楽しむ会」)」は十一月十六日、村公民館で開催。村内外から多くの来場者が訪れ、鮫川村の「食」を堪能しました。

また、「楽しむ会」に先立ち、特産品開発や地産地消、農業振興を目的に実施している「第十回鮫川村アイディア料理コンテスト」および「第三回花まめコンテスト」の表彰式を開催。受賞者に表彰状

と記念品を贈呈しました。今年も、アイディア料理コンテストに十三点、花まめコンテストに十八点の応募があり、十一月八日に村公民館で厳正な審査が行われました。入賞作品は「楽しむ会」の会場に展示され、来場者は優れた作品に感心している様子でした。伝統的な郷土料理と村内産食材を使ったアイディア料理が一堂に会し、地域の「食」を見直す機会

| part. 2 | 「食」を生かした村づくり



最優秀賞を受賞した大平キヨ子さんの「紫花豆」

■最優秀賞(鮫川村長賞) 〓「炊飯器で作るかんたんライスバーグ」 塩田恵美子(鍛木田) ■まめで達者な村づくり奨励賞(県南農林事務所長賞) 〓「黒花豆」石井トク(中沢) ■優秀賞(鮫川村商工会長賞) 〓「白花豆」舟木ミツヨ(寅卯平) ■優秀賞(JA東西しらかわ鮫川支店長賞) 〓「パンダ豆」関根タケ(余所内) ■入賞 〓「紫花豆」舟木ミツヨ(寅卯平)、「うずら豆」関根タケ(余所内)、「金時豆」大平キヨ子(二反田)、「黒花豆」坂本ミツヨ(岩野草)、「黒いんげん」関根フク(余所内)、「黒花豆」石井トク(中沢)、「うずら豆」関根マサ(余所内)、「紫花豆」関根マサ(余所内)、「うずら豆」佐藤春枝(遠ヶ竜)、「黒花豆」芳賀マサノ(摺合)、「白小豆」芳賀マサノ(摺合)、「紫花豆」北條サキ子(押目)、「白ささぎ」関根のぶ子(余所内)



最優秀賞に輝いた塩田恵美子さんの「炊飯器で作るかんたんライスバーグ」

■最優秀賞(鮫川村長賞) 〓「炊飯器で作るかんたんライスバーグ」 塩田恵美子(鍛木田) ■まめで達者な村づくり奨励賞(県南農林事務所長賞) 〓「こはんの友エゴマ油」我妻幸子(落合) ■優秀賞(鮫川村商工会長賞) 〓「おもてなしおはぎ」落合里づくり協議会(落合) ■優秀賞(JA東西しらかわ鮫川支店長賞) 〓「米粉でつくる味噌プチシフォンケーキ」遠山陽子(沼野沢) ■福島民報社賞 〓「靴ビーター」水野洋子(広畑) ■福島民友新聞社賞 〓「もちもち春巻き」羽田優希(内ヶ竜) ■入賞 〓「これ、なんだっぺ？」根本良子(岩野草)、「米粉でつくるきなこのプチシフォンケーキ」遠山陽子(沼野沢)、「漬けもの入り太巻きずし」我妻久子(落合)、「凍み餅大福」関根のぶ子(余所内)、「豆寿し」我妻トシ子(落合)、「山里風こはんパンケーキ」進士由美子(葉貫)



伊藤 元司さん
| 東京都北区産業振興課長 |

生産地を応援することが
私たち都市部の住民の
役割だと思っています

私は、鮫川村と親戚のようなお付き合いをしたいと思っています。東京都は生産地ではありませんし、特に北区にいたっては農家が1軒もありません。そのため、安全で新鮮な物を食べるためには、鮫川村のような生産地を応援することが私たち都市部の住民の役割だと思っています。生産者が作った農産物を買って、食べることで少しでも作り続ける人が増えればと考えています。

東京都に限ったことではありませんが、生鮮食品を売る個人商店が減っている状況です。大型スーパーなどは安価で品ぞろえが豊富である一方、生産者の顔が見えにくく、料理方法や食べ方を教えてもらうこともできません。

以前は「食べ物は安ければいい」という感覚がありましたが、震災や食品偽装問題などから、安心・安全な食べ物、質にこだわる人が増えています。鮫川村は、大量生産はできないかもしれませんが、生産している物に責任を持っているように感じます。生産された一つ一つの農産物に「丹精込めて」という言葉が合っています。このように、手作りのよさを大切にしているところが、都市部の住民にとって魅力的に映るのです。だからこそ、鮫川村と交流したいと思っています。

私たち都市部の住民が地方を思い

描くとき、真っ先にその地方の料理や食材を考えます。レストランのシェフが作るような料理ではなく、家庭で作られている素朴な料理に魅力を感じ、郷土料理を食べたいと思います。「一汁三菜」といった昔から受け継がれてきたシンプルな「食」が好まれているのです。

自分たちが作った農産物で料理をして食べられる。こんなにも安心・安全でおいしいものはありません。それができる鮫川村には「おふくろの味」を大切にしてほしいと、よそ者ながら勝手に思っています。

私たち消費者が生産者の顔を知りたいように、生産者も消費者の顔や声を知りたいのではないのでしょうか。そういった相互の交流が持てれば、付加価値がある物を適正価格で販売していただけるのではないのでしょうか。

鮫川村の農産物を食べることで鮫川村を知る。そういったことの繰り返しで、私のように「鮫川村に住んでみたい」と思う人も現れるかもしれません。北区健康づくり栄養グループ「食彩」のメンバーの中にも、何度も鮫川村を訪れている人がいるということは、「また来たい」と思わせる魅力があるからです。鮫川村の豊かな「食」はもちろんですが、きれいな水と土壌、空気がある自然、村の方々の人柄、そういったものが私たちを引きつけているのでしょう。

都市との交流を通して 鮫川村の「食」の魅力を発信

「食」が取り持つ農村と都市のお付き合い

村では、東京都北区との交流を進めています。平成八年から王子銀座商店街との交流が始まったのがきっかけで、平成十八年からは北区の秋の一大イベント「ふるさと北区区民まつり」に参加。また、

昨年度からは「北区食育フェア」での物産販売など、村の「食」の魅力を発信しています。さらに、昨年度から「農村体験ツアー」で北区民が来村し、村の郷土料理などを堪能。今年九月に

は北区民を対象とした料理教室を北区赤羽で開催するなど、「食」を通して交流が深まっています。村では今後も、北区との交流を通して鮫川村の「食」をアピールしていきます。



1. 東京都北区の秋の一大イベント「ふるさと北区区民まつり」では、鮫川村産の農産物や加工品が人気を集めています 2・3. 農村体験ツアーで鮫川村を訪れ、郷土料理づくりや野菜収穫を体験する北区民の方々 4・5. 北区民を対象に開催した出張料理講習会「まめで達者な料理教室」。村食生活改善推進員「ひまわりの会」のメンバーが講師となり、村内産の食材をふんだんに使った料理を作りました

| part.3 | 「食」で深まる都市との絆



沼田 茂さん・恵子さん
| 東京都北区赤羽台在住 |

料理のおいしさに感動

今年、「農村体験ホテルツアー」で初めて鮫川村を訪れました。村の人たちの人柄のよさ、そして、凍み餅や凍み大根などの郷土料理のおいしさに感動しました。また、大豆やエゴマの加工品がバラエティーに富んでいるのも素晴らしいと思います。



新沼 清子さん
| 東京都北区豊島在住 |

農産物がとても新鮮

鮫川村の農産物はとても新鮮で、そのよさが料理に活かされています。「鮫川の郷土料理を楽しむ会」に参加して、村が郷土料理などの食文化に力を入れていると感じました。私たちも参考にして、北区の食事会などに生かしていきたいと思っています。



矢吹 さつきさん
| ひまわりの会 会長 |

村の「食」を見直す機会に

私たちが何気なく食べている郷土料理をととても喜んで食べてくれたことで、受け継いでいかなければと、鮫川村の「食」を見直す機会になりました。また、北区健康づくり栄養グループ「食彩」の活動から刺激を受けて、私たちもさらに頑張ろうと思います。



藤田 敏江さん
| 手・まめ・館 勤務 |

顔なじみが多い

北区には、鮫川村の農産物などを食べて、「おいしかった」と何度も買いにきてくれる顔なじみのお客さんが何人もいます。「次はいつ来るの」と待っていてくれるので、とてもうれしいです。これからも、北区との関係をつなげていきたいと思っています。

インタビュー ● 山際食彩工房代表・山際博美さんに聞く

地域の食文化の魅力を追求することが大事です

春になれば山菜が採れ、夏になれば野菜が豊富になり、秋になれば新米を食べ、冬になれば保存食を作る。日本的な食生活は先人の知恵から学ぶことが多く、これらを伝承しなくてはいけないと思います。

鮫川村の「食」は地域に根ざしていると感じます。普段から郷土料理、行事食が食べられているのも素晴らしいことです。また、よりよい農産物を作るために土壌からこだわり、安全で安心な作物を作ろうと努力しています。また、地元の素材を使ったアイデア料理コンテストを開き、それらを学校給食、加工食品などとして生かすことを考え、おのずと地産地消が当たり前になり、それを実行しているところが素晴らしいと思います。また、「鮫川の郷土料理を楽しむ会」が定着しているのも素晴らしいことです。

これからは、地域の食材による郷土料理など、昔から伝わる日本型の食生活を見直し、地域の食文

化の魅力を追求することが大事になると思います。しかし今、食文化は料理そのものの魅力のことを指し、いわゆる郷土料理というだけでは評価されなくなりつつあります。さらに、大量生産・大量販売など流通の発達によって、地元の素材や固有性を訴えることも難しくなっています。

鮫川村は、快適で楽しい食事空間と、安全でおいしく、そして地域文化を表現した「食」を提供できる環境があると私は感じています。その素材となる農産物が大変豊富です。これからは、それらの情報を発信し、充実させていくことが課題になっていくのではないのでしょうか。

鮫川村の方々はとても元気で、大豆、じゅうねん、かぼちゃ、花豆、そのほかにも、さまざま加工品がたくさんあります。これらを地域の活性化に向けて今後も作り続けて、地産地消のパイオニアとして頑張っていたきたいと思います。



やまぎわ・ひろみ ● 昭和35年生まれ。高校卒業と同時に郡山グリンセイキで修業。その後、ホテル西村、レストラン等を経て、1987年にリゾート旅館「ヴィライナワシロ」(猪苗代町)に入社。現在は、ヴィライナワシロ調理顧問、山際食彩工房(会津若松市)代表。福島県食農サポーター、同農業振興審議会委員、農林水産省地産地消の仕事人、同地産地消普及拡大企画委員など、数々の役職を務める。鮫川村アイデア料理コンテストでは、第3回目から審査委員長を務める。



安心・安全な農産物

昔から伝わる郷土料理

さめがわの豊かな「食」は

里山の「お・も・て・な・し」

笑顔あふれる地域に…



1. 食料品から日用雑貨まで、さまざまな商品が並んでいます 2. 誰でも気軽に利用できる休憩スペースは、使い方もいろいろ 3. 「すまいる」スタッフの皆さん。お客さんが入りやすい雰囲気づくりを心掛けています

買い物弱者支援、地域や商店の活性化などを目的とした「村民の店「すまいる」」が十一月十日、図書館の隣にオープンしました。コンセプトは「村民の笑顔がみたい…買い支え・心のお店」。スタートしたばかりで、多くの可能性を秘めているお店をご紹介します。

買い物弱者支援など 地域活性化につなげる

村内商店・事業所の減少や高齢者世帯の増加が進むにつれ、日常の買い物に不便を感じる「買い物弱者」が増えていきます。この対策として、村商工会と村では、経済産業省の地域自立型買い物弱者対策支援事業の採択を受け、空き店舗を活用した「村民の店「すまいる」」を開設しました。この店舗は買い物弱者支援はもちろん、店舗内の休憩スペースを利用した地域住民のコミュニティ再生を促す複合施設で、新たな雇用の創出

も目的の一つとしています。 食料品から日用雑貨 幅広い品ぞろえ

店舗には、食料品から日用雑貨、村の特産品などが並び、幅広い品ぞろえとなっています。商品は、村内の十七商店・事業所と連携し、仕入れを行っています。これによって、既存商店の活性化につなげるねらいがあります。今後、利用者の要望などを取り入れて品ぞろえを充実させていく予定です。また、店舗販売のほか、宅配や移動販売を十二月中旬に開始する予定で、既存の移動販売を行う商店

と協議・連携を図りながら計画を進めています。これにより、村民の利便性を向上させるだけではなく、高齢者世帯などの安否確認やコミュニケーションを図り、安心して生活できる環境づくりにも取り組んでいきます。

買い物だけでなく コミュニティの場としても

店内には、商品が並んでいるだけではなく、広い休憩スペースを設けています。放課後の子どもたちが保護者の迎えを待ったり、高齢者のよりどころになったりと、子どもから高齢者までが気軽に利用できる場所となっています。また、このスペースを利用したイベントなどの開催も視野に入れ、新たなコミュニティ形成の場とし

て、地域に根ざした店舗を目指していきます。

今後、さらに多くの方に利用してもらえる店舗になるよう、皆さんの意見や要望などをお寄せください。

INTERVIEW



村民の店「すまいる」
店長 須藤真紀さん

お客様からは「近くで買い物ができていい」「地域が明るくなった」などの声をいただいています。皆さんの声を聞きながら、「お店があっただけよかった」と言ってもらえるような店づくりをしていきたいと思えます。これからは、宅配や移動販売も行っていきます。「高齢者の足」になれるように努力していきます。

「笑顔が集まる。笑顔でつながる」ようなお店の雰囲気づくりをし、村全体の活性化につなげられるようにしたいです。

スタッフ一同、皆さんのお越しを笑顔でお待ちしております。

VOICE



藤元良子さん
優雅くん
(赤坂西野字藤平在住)

図書館で待っている子どもの迎えのついでに、お店に入りました。子どもが「お腹がすいた」と言うので、子どものおやつと不足している食材を買いました。

思っていたよりもいろいろな物を売っていて、スーパーが凝縮されたようなお店ですね。



鈴木一良さん
(赤坂中野字新宿在住)

車を運転できないお年寄りにとって、近場で買い物ができるということは、とても助かると思います。

また、買い物をするだけの場所ではなく、休憩スペースを利用してお年寄りがお茶飲みをしたり、イベントを開催したり、交流の場としても使っていきたいです。

村民の店「すまいる」

- ☎ 午前9時～午後7時30分
(12月30日、1月2日は午前9時から午後6時まで)
- ☎ 毎月第1木曜日
12月31日、1月1日
- ☎ 大字赤坂中野字新宿64番地1
☎ 57-6901 FAX 57-6902

児童扶養手当を支給しています

児童扶養手当とは、離婚や死別などの理由で母親もしくは父親のみで子どもを育てている「ひとり親家庭」に対して、生活の安定と自立を促進するため設けられた制度です。
※平成22年8月1日から父子家庭にも支給されています。

は家庭の状況により異なりますので、村民福祉課福祉係へご相談ください。
支給方法 原則として、申請した月の翌月分から手当を支給します。毎年4月、8月、12月の年3回、請求者の希望した金融機関の口座に振り込みます。
継続の手続き 継続して児童扶養手当を受けるには、年

に1回、8月に児童の養育状況や前年の所得を確認するための現況届を提出することが義務付けられています。基本的に8月1日から31日までの間に提出し、2年間提出しないと支給資格がなくなりますので、ご注意ください。
問 村民福祉課福祉係 ☎ 49・3113

仮設焼却施設周辺空間線量の測定結果

村民福祉課炉監視委員会では、毎週金曜日に仮設焼却施設周辺の空間線量を測定しています。なお、仮設焼却施設周辺の空間線量測定結果と関連ファイルについては、村および環境省のホームページで公表しています。
問 村地域整備課環境係 ☎ 49・3196

■児童扶養手当の支給対象(所得制限があります)

対象年齢	18歳に到達して最初の年度末(3月31日)まで(心身に一定の障がいがあるときは20歳未満)
該当する児童	<ul style="list-style-type: none"> ●両親が離婚してひとり親家庭である(母子家庭・父子家庭) ●父または母が死亡した ●父または母が一定程度の障がいの状態にある ●父または母の生死が不明 ●父または母に遺棄されている ●父または母が1年以上拘束されている ●母が未婚のまま子どもを産んだ場合 ●孤児 上記のいずれかの要件に該当し、養育者(父母以外でも養育者であれば対象)の所得が一定水準以下の場合に支給されます。
支給対象外	<ul style="list-style-type: none"> ●日本国内に住所がない ●父や母の死亡に伴う年金・労災などを受給できるとき ●父または母の年金の加算対象になっているとき ●里親に委託されているとき ●父または母と生計を同じくしているとき(父または母が障がい者の場合を除く) ●父または母が再婚し、その連れ子として養育されているとき ※法律上の届け出をせず、実態として婚姻同様の生活を行っている場合(いわゆる事実婚)も対象外となります。

※請求者が老齢福祉年金以外の年金を受けている場合には、受給者になれませんので注意してください。

■支給月額(平成25年10月1日改定)

児童の人数	全部支給のとき	一部支給のとき
1人	41,140円	所得に応じて9,710円～41,130円(10円きざみ)
2人	5,000円加算	
3人以上	1人につき3,000円加算	

■施設周辺の空間線量(11月22日実施) [μSv/h]

測定箇所	測定値	測定箇所	測定値
仮設焼却炉入口	0.13	施設東側 120m	0.14
青生野小学校	0.12	施設南側 120m	0.17
朝日山登山道入口	0.11	施設西側 120m	0.18
青生野肥育組合	0.15	施設北側 120m	0.20
鹿角平観光牧場	0.10	仮置場看板付近	0.10
		石久保線起点	0.16
		石久保線終点	0.15
		和協管理棟付近	0.16

ひとり親家庭医療費助成制度

ひとり親家庭および父母のいない児童に対して医療費の一部を助成します。
助成対象 次のいずれかに該当する方/①18歳未満の児童を監護している配偶者のいない父親または母親とその児童/②父母のいない18歳未満の児童
助成条件 児童扶養手当の支給要件と同じです。
助成内容 対象者が医療機関で受診した月の支払い額の合計から1000円を控除した額を助成します。ただし、同一月の医療費の合計が1000円未満の場合は助成されません。

申請方法 ①登録申請をし、受給者証の交付を受けます。/②医療機関にかかる際に受給者証と助成申請書を示し、支払った医療費の証明を受けます。/③医療機関の証明を受けた助成申請書を役場に提出し、審査後に支給決定され、指定口座に振り込まれます。
問 村民福祉課福祉係 ☎ 49・3113

特別児童扶養手当を支給

支給対象 20歳未満で、身体または精神に一定の障がいのある児童を監護している父親もしくは母親、または父母に代わってその児童を養育している方(所得制限があります)。
支給対象外 次のような場合は手当を受けることができません。/①手当を受け

うとする人、対象となる児童が日本に住所がない場合/②児童が肢体不自由施設や知的障がい児施設などの施設に入所している場合/③児童が障がいを理由として厚生年金などの公的年金を受けることができる場合
問 村民福祉課福祉係 ☎ 49・3113

農産物等放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物等の放射性セシウム測定結果を公表します。結果はあくまでも参考値ですので、目安としてください。

また、村では現在も放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、ご利用ください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

10月16日～11月15日検査 [ベクレル/kg]

検査試料	赤坂西野	西山	赤坂中野	東石	富田	渡瀬	青生野
里芋	不検出	不検出	不検出	5	不検出		
大根	不検出	不検出	不検出	不検出 ²⁷	不検出		
白菜	不検出	不検出	不検出	不検出 ⁷	不検出		
カボチャ	不検出	不検出	不検出	不検出 ⁵			
サツマイモ			不検出	不検出	不検出		
ホウレンソウ	不検出		不検出		不検出		
小松菜	不検出	不検出		不検出	不検出		
ニンジン		不検出		不検出	不検出		
ブロッコリー	不検出		不検出	不検出			
柿	不検出		不検出			不検出 ⁶	
トコロイモ		不検出		30			不検出
柚	不検出 ²²	17					
ジュウネン		不検出					不検出
ナメコ	25～41		41	65			135
ネズミシメジ				62～258			
イノシシ肉	160～207			99～438	115	199～346	418

■問い合わせ 村農林課 ☎ 49-3114

moe・ryoku/緑のふるさと協力隊・遠山陽子さんの鮫川村体験記



1. 鮮やかに色づいたもみじ
2. 鮫川小5年生の収穫祭。5月から田植えや稲刈り、脱穀と一緒に体験し、収穫したお米で餅つきをしました。



3. 米粉で作ったシフォンケーキ。みそ入りときな粉入りの2種類を作りました。
4. 道端で見つけたナデシコ

紅葉の鮮やかさに感激!!

寒 いです。冬本番を前に、早くもこたつとストーブが活躍し始めています。まだ湯たんぽと厚手の毛布は出さずに頑張っていますが、近々引っぱりだそうと思います。寒さはつらくなってきましたが、紅葉がきれいで感激しっぱなしです。紅葉の盛りにはカメラが手放せず、どこを撮っても絵になります。写真にするときれいさが半分以下になってしまうこと。なので、しっかりと心のカメラに記憶しておこうと思います。

脱穀を見るのも作業するのも初めて。田植えと稲刈りは鮫川にくる以前にやったことがありますが、脱穀だけは無いのです。作業のお手伝いをして思ったのは意外と大変。でも、稲を機械に通すだけとお米と稲わらに分かれるのは見ていて不思議でした。春から手間をかけて作るお米。そんなお米が今回のアイディア料理コンテストのテーマだったので、実は私も参加しました。ちなみに、作ったのは実家にいたころからよく作っていたシフォンケーキ。本来なら小麦粉を使うのですが、今回は米粉に置き換えてさ

らにひと工夫したものを二品ほど出品。何度も試作を繰り返して、時には味見をしてもらいながら作ったケーキは、結果うんぬんよりもおいしいと言ってくれてもらえたことが何よりもうれしかったです。今度は何を作ろうかな。鮫川に来てから車移動が基本だったので、家から落合地区までの約四キロを歩いてみることにしました。普段はあつという間に通り過ぎてしまう所も、歩いてみるといろいろな発見があります。道端にナデシコが咲いていたり、スキの穂がふわふわになっていたり、秋晴れのほかほか陽気、太陽の光を受けて紅葉はキラキラ光っていました。何より、いつも以上に時間がゆっくり流れているように感じました。

ついに今年も一カ月で終わりということに驚きつつも、小春日和の陽気にのんびり日向ぼっこして過ごしたくなってしまいます。

facebook 「緑のふるさと協力隊 in 鮫川村」です。「いいね！」お願いします。



初の全国大会出場という緊張の中で、普段通りの跳躍で自己ベストを更新。今後の目標は、中体連全国1位さらなる高見を目指す

須藤悠太さん 鮫川中2年
YUTA SUTO

全国大会で堂々とした跳躍をする悠太さん (写真提供:鮫川中学校)

初の大舞台で躍動 全国3位に輝く

ジュニアオリンピック陸上競技大会 《走り幅跳び》

鮫川中学校二年の須藤悠太さんは、十月二十六日、二十七日に日産スタジアム(横浜市)で行われた「第四十四回ジュニアオリンピック陸上競技大会」に走り幅跳びで福島県代表として出場。大会では、自己ベストを十八センチ上回る六十三センチを記録し、見事全国三位入賞を果たしました。

「初めての全国大会出場ということで、会場の大きさやプレッシャーに押しつぶされそうでした」と、大舞台での緊張を話した悠太さん。「でも、跳躍をするときには何も考えず、普段通りの自分の競技ができました。自己ベストを跳ぶことができて、とてもうれしいです」と笑顔を見せました。



右/3位入賞の表彰状とメダルを手にする悠太さん。部員全員で日々の練習は、部員全員で基礎練習をしたあと個人練習をします。

年を見据えて、目標を立てて日々の練習に取り組んでいます。今後は、各種練習会などにも参加して筋力強化や技術力向上を図り、さらなる高見を目指します。

学習の成果を披露

2つの小学校で学習発表会

村内2つの小学校の学習発表会は10月に開催され、子どもたちが日ごろの学習の成果を披露しました。

鮫川小の学習発表会「さめっ子フェスティバル」は10月26日、青生野小は同月27日に開催。鮫川小では、合唱部の発表や劇、ポディーパーカッション、合奏など学年ごとに趣向を凝らした発表が行われました。また、青生野小では、ダンスや創作劇、児童・保護者・地域の方が一つになっての合唱などを披露し、会場に詰めかけた家族らから、大きな拍手が送られました。



上/鮫川小6年「心をひとつに」
左/青生野小3・4年「青生野の森の誕生日」

生徒たちの創意工夫を一般公開

修明高校鮫川校の「山峡祭」



手芸部の作品を販売する生徒たち

修明高等学校鮫川校の学校祭「第14回山峡祭」は11月9日、「最高な仲間と最高の思い出を！青春は爆発だ！」をテーマに開催されました。文芸部の作品展示やカフェ、お化け屋敷などが企画されたほか、午後には合唱部発表や芸術鑑賞会が行われました。

思いを言葉と歌にのせて

少年主張大会・音楽発表会



堂々と意見を発表した主張大会

第18回少年主張大会、第12回音楽発表会は11月3日、村公民館で行われました。

主張大会では、小・中学生、高校生が日ごろ考えていることや訴えたいことを堂々と発表。音楽発表会では、小・中学生が美しい歌声を披露しました。



作成された「このころのうた」

子どもたちの思いが結集
「このころのうた」を作成

村青少年健全育成推進協議会では、「第18回少年主張大会」「第17回こども俳句・短歌・詩のコンクール」「第6回家族への短い手紙」の作品をまとめた「このころのうた」を作成しました。各公共施設などに置いてありますので、ぜひご覧ください。

鮫川中体育館の一文字幕など更新

鮫川運送株から村へ寄贈



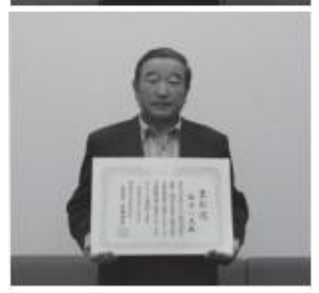
目録を手渡す芳賀一代表取締役社長

鮫川運送株式会社から村へ、鮫川中学校体育館用の一文字幕と袖幕が寄贈されました。平成3年に寄贈された一文字幕などの更新のため、贈呈式は11月18日、役場村長室で行われ、芳賀一代表取締役社長（写真左から2人目）から大楽村長に目録が手渡されました。

栄えある受賞

赤坂基さん「福島県知事表彰」
田子一夫さん「県統計協会名誉会長表彰」を受賞

統計調査に長年にわたり従事し、顕著な功績をあげたとして、赤坂基さん（写真上）が統計功労者として「福島県知事表彰」を受賞。田子一夫さん（写真下）が「福島県統計協会名誉会長表彰」を受賞しました。赤坂さんは、11月1日に福島市で行われた「福島県統計功労者表彰式」に出席し、表彰を受けました。また、田子さんには同月5日、役場村長室で表彰状が伝達されました。



白河総合美術展で芳賀愛子さん「市長賞」
水野博和さん「教育長賞」を受賞

「第59回白河総合美術展」の洋画部門で、芳賀愛子さん（写真右）が「市長賞」、水野博和さん（写真中央）が「教育長賞」を受賞しました。芳賀さんは、そうめんの滝の清流を力強く描いた作品「そうめんの滝」、水野さんは天狗橋と新緑のみどりを組み合わせた「若葉の天狗橋」を出展。



11月5日、奥貫洋教育長に受賞を報告し、喜びを新たにしました。

村政TOPICS



人権尊重を呼びかけた啓発活動

12月4日～10日は「人権週間」です。人権週間に先立ち十一月三日、村公民館で村人権擁護委員の皆さんが人権思想の普及と意識の高揚を図るため啓発活動を行いました。一人一人にチラシなどを配り、人権尊重を呼びかけました。



鮫川会場で行われた地方大会

長があいさつ。優良運転者などを表彰したあと、被害者支援に関する講演が行われました。参加者は、地域一丸となり交通安全に取り組み決意を新たにしました。

交通安全の決意新たに東白川地方大会
交通安全東白川地方大会は十一月十三日、村農業者トレーニングセンターで行われました。大会会長を務めた大楽村長があいさつ。優良運転者などを表彰したあと、被害者支援に関する講演が行われました。参加者は、地域一丸となり交通安全に取り組み決意を新たにしました。



放水訓練を行う消防団員

万が一に備えて
火災防衛訓練を実施
秋季全国火災予防運動期間中の十一月十日、火災防衛訓練が赤坂西野字前折戸地内で行われました。「通行人のたばこ投げ捨てにより枯れ草に着火。山林に延焼拡大し、民家に火勢が迫っている」との想定で、棚倉消防署鮫川分署と村消防団により、通報から出動、放水などの消火訓練が繰り返されました。消防団員らは、万が一に備えて機敏な動作で訓練に臨んでいました。

村政TOPICS



なまため・まゆみ ●昭和56年12月生まれ。赤坂東野字広畑在住。主婦。趣味は「キャラ弁」作り。中学時代恩師の言葉「苦しいときは前進している」が心に残っている。

私が鮫川村に嫁いってから六年が経ちました。初めは、鮫川村での生活に不安もありましたが、パレーボールでの交流や家族ぐるみでたくさんの人と出会うことができ、支えられ、今では女の子三人の母としてとてもうれしく、幸せを感じながら毎日を過ごせるようになりました。

村民【随想】リレー — 185

生田目真弓さん

出会いと夢

卒業後、埼玉県桶川市にある美容室に就職し、山野美容専門学校で美容師免許を取得しました。技術職は厳しい面もありますが、とても幅広く楽しい仕事でもあり、たくさんのお会いもありがとうございます。ブランクもありますが、美容室に戻り今までの経験と技術を生かし、お客様の笑顔がたくさん見られる店を目標に頑張りたいと思います。

句のものの旨いと云われ採り来ては落の皮剥く香りを愛でつ 鈴木イミ子 嫁ぎ先農家で良かったと今更に感深くする 野菜畑に 佐藤 春枝 畑には畑のいのち細やかに手入れを待ちかたがやける土 矢吹 定子 朝な夕花に囲まるわが屋敷 増え 須藤 幸子 鈴生りの柿の実今年も挽がるなく 土手の地肌を染めて落ちつく 水野 珠子 辿りゆく山路に匂う百合の花 蝶 関根 瑞恵

さめがわを 彩る集い 21 支え合いながら美しいハーモニーを奏でる



コーラスさめがわ

齋須信子代表/会員8名

コーラスさめがわの歴史は古く、約四十年前に結成されました。これまで、地元で活動してきた音楽の先生の指導で活動を続け、現在は塩井和歌子さん(棚倉町)の指導を受けながら日々練習をしています。今年、新たにメンバーが加わり、さらに活気づいています。メンバーは村内に限らず白河市など村外からも参加し、少数精鋭でお互い支え合いながら美しいハーモニーを奏でています。二年前かけて全員で曲を作り上げていき、きれいにハモれたときが気持ちいい」と魅力を話します。また、うまくできた瞬間をみんなで共有できる幸せがあるといいます。

どのような報いあるうと堅実に生きて些かも悔いなる日々 満井 清乃 一日も欠かさず通う畑には 土の光りて培う 野菜 坂本 伊紀 人生をほがらほがらに生きよとぞ告げて耀う 朝茜雲 一平子 曾孫よりねだられサツマの芋堀に 詫々と掘りいる園児に交じり 石井 幸子 長寿会メインの湯入り研修も盛會裡にすみ次なる事業に 須藤シツエ 孤独でもいじけちやならぬ世の恩 義人の情が身にしみるとき 松本 一郎 戦災を受けしわが身をいたわりて 接してくれたる人々忘れず 前田喜三子 友愛は金より大事な宝物病氣し人生の意味を悟りぬ 関根ヨネ子 稲スズメタ暮れ時を賑やかに送電線にと行きつ戻りつ 藤田千代子 老いたれば後を見ずしてこの先を 楽しまねばと友と微笑み 関根ハナヨ 夕陽うけ柿の実紅く映えいずる食欲さそう秋のひとこま 関根 富久 館山に紅葉狩りして思いみる真夏の汗せし色 滲みいづるを 板橋 源良 小雨降る淋しき秋の庭隈に紅きさつきの返り花咲く 関根キヌ子 汚染水漏れや放水深刻化耳目に触れくる連日の如く 矢吹 一二 山里の刈田は点々と狭間なる作付放棄地の草叢目立つ 北條 平

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します 鮫川村図書館 ☎ 29-1150

神去なあなあ日常

(三浦しをん著、徳間書店)

横浜育ちの平野 勇気が高校卒業と同時に放り込まれたのは、三重県の山奥にある神去村。1年は帰れないという。100年単位の山仕事をする村人たちの口癖は「なあなあ」。四季の移ろい、48年ぶりの大祭…村での1年間を描いた1冊。

夢に向かって泳ぎきれ

(入り江陵介監修、あかね書房)

「ぼくを支えてくれた人たちにぼくの泳ぎで笑顔にしたい。何度も悔し涙を流してオリンピックのメダルを手にした入江陵介選手、努力する天才といわれている。目標に向かって努力することの大切さを分かりやすい言葉で教えてくれる。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

若者の広場 No.108

Young Plaza

塩田弘樹さん

■今、夢中になっていることは何ですか？

車いじりと舗装されていない山道などを車で走るクロスカントリーにはまっています。休みの日は、友達と車いじりをしていることが多いです。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

今年、水上バイクの免許を取ったので、来年の夏から始めたいです。いずれは、水上バイクを買いたいと思っています。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うこと

とはありますか？

鮫川村は空気がきれいで自然が豊かです。また、気軽に話しかけてくるようなフレンドリーで気持ちのいい人が多いのも鮫川村のいいところだと思います。

■鮫川村に要望などはありますか？

このまま変わらないでほしいです。コンビニがなくても、それに慣れているので不便に思ったり困ったりすることはありません。

次は水野暁隆さん（赤坂東野字官代在住）の予定です。

フレンドリーな人が多い村



しおだ・ひろき
平成4年1月20日生まれ 21歳
A B型 みずがめ座
趣味は車いじり
石井草履字関ノ上在住

■マラソン記録会・給食試食会

練習の成果を発揮し、参加者全員が見事完走しました。また、給食は「いただきます」事業の補助を受け、地元福島県産、鮫川村産の食材を利用したメニューでした。保護者の方




マラソン記録会
給食試食会

■鮫川村合同修学旅行

青生野小と合同で、会津若松方面へ行きました。鶴ヶ城や飯盛山などの観光名所を中心に、班別に自由散策を行い、思い出に残る楽しい旅行となりました。



村合同修学旅行

(文・写真/鮫川小学校)

学校だより

(110)

鮫川小学校編

■少年主張大会・音楽発表会

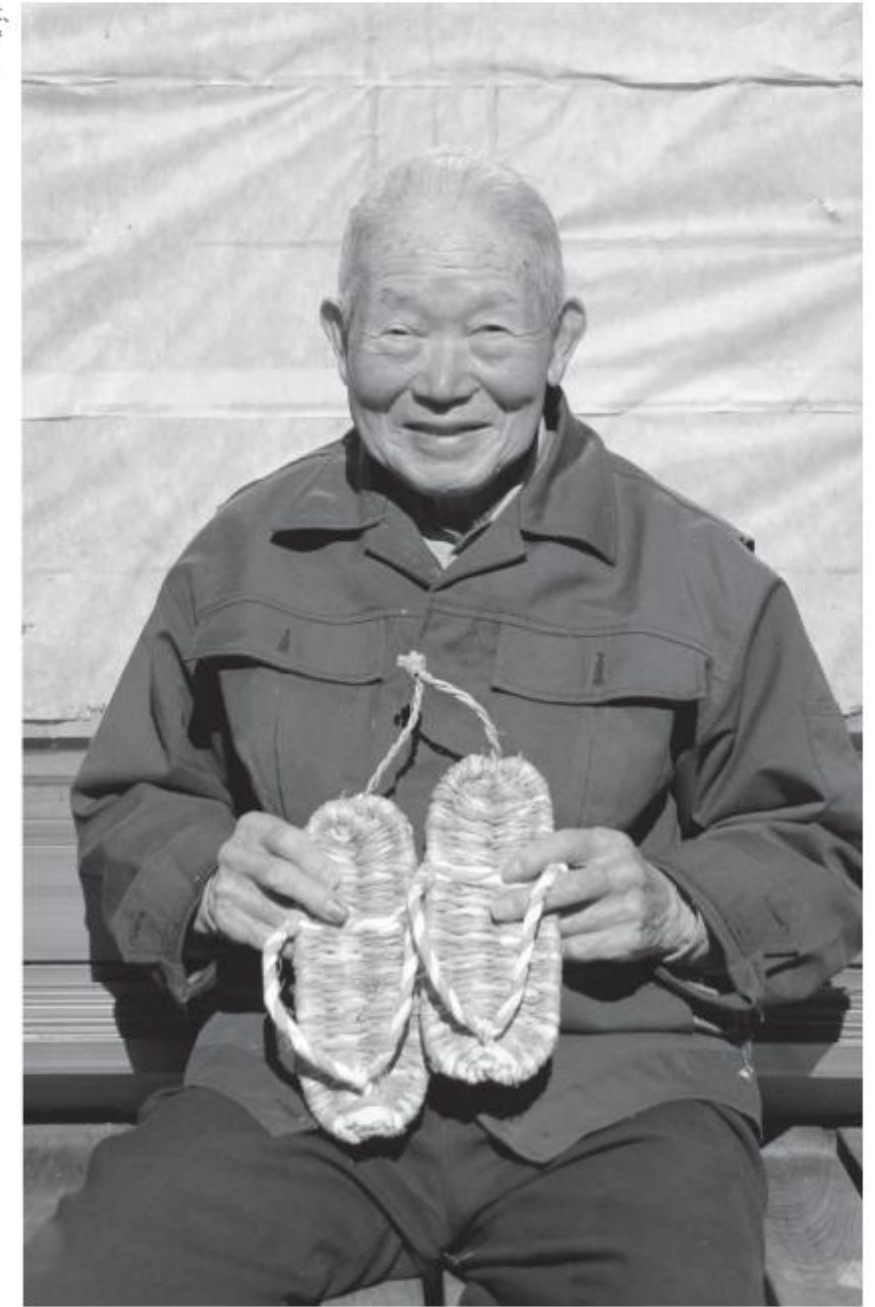
六年の須藤楓さんと五年の北條綾乃さんによる作文発表や県大会で銀賞を獲得した合唱部の素晴らしい発表がありました。

■鮫川小、充実の秋

マラソン記録会の一位入賞者は次のとおりです。

【二年】	男子	小松琉真
【二年】	女子	水野谷花菜
【二年】	男子	水野陽亮
【二年】	女子	渡邊咲来
【三年】	男子	坂本大夢
【三年】	女子	鈴木結
【四年】	男子	高野敦輝
【四年】	女子	須藤玲奈
【五年】	男子	円井純一
【五年】	女子	北條佑奈
【六年】	男子	関根清也
【六年】	女子	北條七海

啓さんが子どものころは、自分が履く草履は自分で編んでいたといひます。



昔は冬期間の仕事として農家が集まって作っていたという「わら草履」。農家の子どもは、誰に教わるでもなく見よう見まねで作りを覚えました。しかし、今では村内で作れる人も数えるほどになってしまいました。その一人が矢吹啓さんです。

「昔の人が基礎を作って、自分たちはそれをまねているだけ」と先人の知恵に感心しています。

草履を編む前の準備が大切と話す啓さん。わらをぬらし一晩寝かせたあと、しっかりとわらを叩きやわらかくします。準備ができたわらをもじり草履の芯を作り、足にかけます。編み始めは「鼻頭」。ここで草履の形がほとんど決まってしまうので、きちんと

編まないときれいに仕上がりません。個性が出るところでもあります。

少し編んでは芯を引っ張り、草履を固く締めていきます。編んで余ったわらを草履の下に引っ張り、さらに固く締めるのが啓さんのひと工夫です。最後に、履き心地が滑らかになるように、わらで草履の表面をこすって完成です。

あなたの光る技 キラリ Vol.17



70年以上作り続けている啓さんでも、1足作るのに約半日。手作りなので1つとして同じものはありません。

わら草履
矢吹 啓さん
やぶき・ひらく/赤坂西野字大塩/91歳

わら草履作りは冬場の仕事 先人が築いた基礎を現在に伝える

除雪作業にご協力ください

村では、積雪が15センチ以上になった場合、必要に応じて除雪作業を行います。除雪は、村内の工事請負業者5社と村が、村道・林道などを実施します。効率的な除雪作業を行うために、地域の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■自宅の門口などの除雪にご協力ください
車道の除雪後、個人の門口や私道入口に雪が残ってしまいます。出入口の確保については、それぞれの管理者（所有者・利用者）で除雪をしてください。その際、車道に雪を出してしまうと道路がデコボコになり交通障害の原因となりますので、車道への雪出しはやめましょう。

■道路脇の支障物などは移転をお願いします
路肩や側溝に積んである木材・資材などは除雪に支障をきたしますので、降雪前に移転などをお願いします。移転不可能な物がある場合は、除雪で損傷を受けないように目印をつけましょう。

■道路などに張り出している樹木は、枝刈り払いなどをお願いします

樹木が道路や歩道に張り出していたり、倒木の恐れがある場合は、降雪前に土地所有者で枝刈り払いや伐採をお願いします。倒木などにより交通事故などが起きた場合、土地所有者の責任になることがありますので、注意してください。

■除雪車の無理な追い越しはやめましょう
除雪車の無理な追い越しは交通事故の原因になりますので、絶対にしないでください。また、除雪後の道路は道幅が狭くなります。歩行者に配慮した安全運転をお願いします。

■消火栓や防火水槽の除雪は地域の皆さんの協力をお願いします
消火栓や防火水槽はいつでも使用できるよう、あらかじめ地域で協力体制を整えて除雪をお願いします。

問 村地域整備課建設係 ☎49-3116

問 村企画調整課企画振興係 ☎49-3115

この調査は、製造業を営む事業所を対象に、その活動状況を明らかにすることを目的に実施しています。調査結果は、国や県、市町村の行政施策の基礎資料として活用されるとともに、小・中学校、高等学校の教材などとして広く利用されています。

調査の実施にあたっては、12月下旬から調査員が事業所などに伺いますので、ご協力をお願いします。

無料法律相談会
白河司法書士総合相談センターでは、不動産登記や会社登記、相続・遺言などについての法律相談を無料で行います（要予約）。

日時 12月5日（木）午後5時～午後8時
場所 マイタウン白河2階
予問 白河司法書士総合相談センター ☎0248-23-1785（祝日を除く平日の午前10時～午後0時30分、午後1時30分～午後4時）

募集
平成26年度
幼稚園・保育園
入園児募集

平成26年4月から鮫川幼稚園・保育園に入園を希望する児童を募集します。

定員 幼稚園：60名／保育園：120名
申し込み期限 12月13日（金）
幼稚園 入園基準 平成20年4月2

日から平成21年4月1日までに生まれ、村内に居住していること
必要書類 入園志願書、お子さんの住民票抄本
申し込み先 村教育委員会 またはこどもセンター

保育園
対象児童 乳児（6カ月以上）から4歳児まで
入園基準 児童の保護者が次のいずれかに該当し、家庭内で保育ができない場合：①日中に家庭外で仕事をしている／②日中に家庭内で家事以外の仕

事をしていない／③父親あるいは母親のいずれかがいない／④母親が出産または父親あるいは母親のいずれかが病人や障がい者など／⑤病人や障がい者などの看護をしている／⑥家庭が災害にあった必要書類 保育園入園申込書、両親の就労状況を証明する書類（勤務・内職をしている場合は事業所の勤務証明書、自営業・農業などの場合は地区民生委員の証明）
申し込み先 役場住民福祉

統計
工業統計調査にご協力ください

課またはこどもセンター さめがわこどもセンター ☎29-1010 / 村教育委員会教育課 ☎49-3151 / 村民福祉課福祉係 ☎49-3113

経済産業省では、12月31日現在で「工業統計調査」を実施します。

催し
東白川あつたか冬まつり

障がい者の自立と地域での共生を目的に、東白川地区の障がい者支援施設が共同で企画。障がいの有無に関わらず、障がい者と地域住民が共に楽しめるイベントです。

主催 東白川あつたか冬まつり実行委員会
日時 12月7日（土）午前10時～午後1時
場所 道の駅はなわ
内容 文化琴、吹奏楽、和太鼓の演奏やよさこい踊りの披露など
問 東白川あつたか冬まつり実行委員会（鮫川たん

案内
ぼほの家 ☎49-2022

村では、福島県統計協会発行の「2014福島県民手帳」「福島県要覧」を販売しています。希望される方は代金を持参の上、役場企画調整課または住民福祉課窓口でお求めください。

福島県民手帳（別冊付）
▼価格：500円（税込）
▼内容：月間ダイアリー、週間ダイアリー、充実した統計データ（全国から見た福島県、都道

府県勢一覧など）、日常生活に役立つ便覧（災害発生時の連絡先、年齢早見表、くらしの相談窓口、県庁・県出先機関一覧、主要国機関、福島県の道の駅、福島県の1日など）。

福島県要覧（B6判・308ページ）▼価格：1500円（税込）▼内容：県勢全般がわかるコンパクトな総合統計書（わかりやすい図表入り）。県および県内市町村の最新統計資料を網羅（自然、人口、産業所得・物価・地価、行財政、福祉、教育、観光、県内市町村勢一覧、都道府県勢一覧、社会生活統計指標など）。

歯の日は
防災無線でむし歯予防を呼びかけます。12月の担当は——
鮫川中学校 保健給食委員会（1年）
橋本 侑香さん
円井朝紗美さん
藤田 菜月さん



問 村企画調整課企画振興係 ☎49-3115

NTT東日本の電話帳をお届けします

NTT東日本では、12月中に順次、新しい福島県版の電話帳を各家庭や事業所にお届けします。現在お使いの電話帳は、お届けの際に回収しますので、配達員にお渡しください。

なお、不在などで配達員に電話帳を渡せなかった場合は、タウンページセンターまでご連絡いただければ、後日、回収に伺います。

問 タウンページセンター ☎0120-506309（平日の午前9時～午後5時）

■電話番号
鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課
健康係 49-3112
住民係・福祉係 49-3113
農林課 49-3114
企画調整課 49-3115
地域整備課
建設係 49-3116
環境係 49-3196
農業委員会 49-3197
議会事務局 49-3198
出納室 49-3199

【その他の機関】
教育委員会 49-3151
図書館 29-1150
農業者トレーニングセンター 49-3295
学校給食センター 49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園） 29-1010
国保診療所 49-2028
ほっとはうす・さめがわ 48-2555
手・まめ・館 49-2556
山王の里 48-2848

■鮫川村公式ホームページ
<http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/>

■今月の納税
村県民税：第4期
国民健康保険税：第7期
介護保険料：第7期
後期高齢者医療保険料：第5期
※納期限：12月25日（水）

お誕生

10月届け出分・敬称略



矢吹 愛美・女
平 25.10.7 生
住所…遠ヶ竜
保護者…彩音

蛭田 真央・女 平 25.10.15 生
住所…田野上 保護者…智勝・奈緒美

おく
やみ

10月届け出分・敬称略

住所氏名	月	年齢
関口 藤田 ハマ	10.1	94歳
大犬平 森田ハルノ	10.5	88歳
押野 関根 章雄	10.9	77歳
田尻 高久 稲子	10.11	79歳
前田 前田 初	10.11	81歳
姿平 笹島マツヨ	10.19	90歳
関口 藤田 一朗	10.21	85歳
姿平 笹島 留吉	10.23	85歳
大戸中 小松 富治	10.24	88歳

人の
動き

11/1 現在・()は前月比

人口	3,909人 (-12)
男	1,961人 (-6)
女	1,948人 (-6)
世帯	1,167戸 (+1)

寄付
寄贈

10月受理分・敬称略

- 社会福祉事業のために[金員]・藤田博文(上) 森田弘二(大犬平) 関根幸雄(押野) 高久美智男(田尻) 前田丙午(前田) 藤田悦男(関口) 笹島兼光(姿平) 小松恵一(大戸中)
- 子育て支援などに関する事業のために[金員]・永山悦子(東京都)

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■今回、3組の生産者の方々に取材をさせていただきました。皆さん、手間暇を惜しまず作業に励み、生き生きとしていました。しかし、これは3組の方々に限ったことではなく、村内の多くの生産者にあてはまることなのでしょう。そのような生産者が鮫川村の「食」、日本の「食」を支えてきたのだと、改めて実感できました。(前田)

暮らしのカレンダー

☎=休日当番医 [公]=公民館 [図]=図書館 [保]=保健センター
[ト]=農業者トレーニングセンター [こ]=こどもセンター

日	月
12/1 ☎東館診療所(矢祭町)☎46-3165 第1日曜日は環境美化の日	2 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●固定資産税などの納期限
8 ☎大木医院(榑倉町)☎33-2424	9 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3~4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30~/埴厚生病院
15 ☎金澤医院(矢祭町)☎46-2312 ●親子読書教室…10:00~[図]	16 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
22 ☎東白川中央医院(榑倉町)☎33-3263	23 天皇誕生日 ☎おおひら整形外科クリニック(榑倉町)☎33-9468 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
29 ☎埴厚生病院(埴町)☎43-1145 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	30 ☎木村医院(矢祭町)☎46-3528 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
5 ☎金澤医院(矢祭町)☎46-2312 第1日曜日は環境美化の日	6 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●役場仕事始め

火	水	木	金	土
3 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面)	4 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●手・まめ・館定休日 ●筋力づくり教室…10:00~15:00[保] ●おはなしの森…16:00~[図]	5 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面)	6 ●筋力づくり教室…10:00~15:00[保]	7 ●お遊戯会[こ]
10 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面)	11 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●筋力づくり教室…10:00~15:00[保] ●おはなしの森…16:00~[図]	12 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●やまゆり保育室[こ]	13 ●筋力づくり教室…10:00~15:00[保]	14
17 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面)	18 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●やまぶきの会…10:00~15:00[保] ●やまゆり乳児室[こ] ●おはなしの森…16:00~[図]	19 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面) ●社会学級閉級式…10:00~13:30[公]	20 ●心配ごと相談…13:00~15:00[公] ●筋力づくり教室…10:00~15:00[保] ●幼稚園、小・中学校第2学期終業式	21
24 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面)	25 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●おはなしの森…16:00~[図] ●村民税などの納期限	26 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面)	27 ●役場仕事納め	28
31 ☎あらまちクリニック(榑倉町)☎33-8018 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	1/1 元旦 ☎和田医院(榑倉町)☎33-2012 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●手・まめ・館定休日	2 ☎東館診療所(矢祭町)☎46-3165 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●手・まめ・館定休日	3 ☎大木医院(榑倉町)☎33-2424 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	4 ●消防団出初式
7 ◆送迎バス運行日(西野・西山・富田方面)	8 ◆送迎バス運行日(中野・東野方面) ●筋力づくり教室…10:00~15:00[保] ●幼稚園、小・中学校第3学期始業式 ●おはなしの森…16:00~[図]	9 ◆送迎バス運行日(渡瀬・青生野方面)	10 ●筋力づくり教室…10:00~15:00[保]	11

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。